

タケモル外断熱工法

VSF工法

タケモル目地補強工法

タイルガード工法

タケモル・ラスモルタル補強工法

タケモルネット貼り工法

タイルガードネット工法

タケモルピンネット工法

INDUSTRIAL METHOD

工 法



既存塗膜の処理方法

③ タケモルネット貼り工法

国土交通省 新技術情報提供システム NETIS

掲載期限終了技術リストに掲載

タケモルネット貼り工法とは

コンクリート打ち放し面やALC板等を対象に、
既存塗膜の処理と新規仕上げに必要な下地層を形成する工法

外装の塗装替えには既存塗膜の処理が重要です。

タケモルネット貼り工法は既存塗膜を局部的に剥がし、
ひび割れや爆裂を補修して全壁面を対象にネット貼りを行う、
コンクリート打ち放し面やALC外壁等の改修工法です。

工法の5つの特長

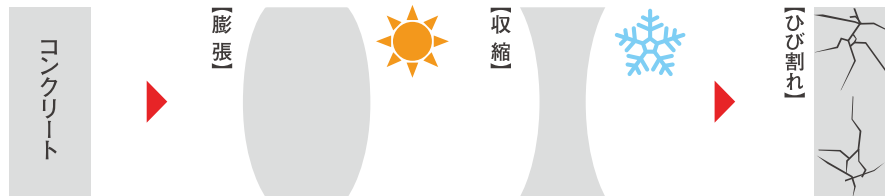
- 既存塗膜の局部除去による湿分の放出と改修層との接着力の向上
- 平滑な塗装下地の形成と長期にわたる美観の維持
- ひび割れ、爆裂等の補修痕跡が見えなくなる
- 鉄筋爆裂補修部とタケモルネット層はSBRの使用により中性化しづらい
- 全国の組合員による責任施工体制と第三者損害保険の適用



経年したコンクリート建築物

経年した鉄筋コンクリート外壁は、厳しい自然環境条件により膨張収縮を繰り返し徐々に劣化してコンクリートは脆弱化します。

鉄筋コンクリートは、ひび割れや鉄筋の腐食によりコンクリートが爆裂し、落下することがあります。



ひび割れ、爆裂、ジャンカなどの不具合部分に汎用されている工法で処理したのでは補修の痕跡が目立ち、建物外装として美観上好ましくありません。



ひび割れ 写真提供：富士見工業(株)



鉄筋爆裂



ジャンカ

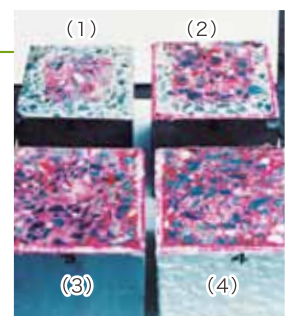
タケモルネット貼り工法は、ひび割れや爆裂を独自の改修方法によって痕跡を残さずコンクリートの呼吸性を損ねずに建物の耐久性を向上させ、同時に平滑な塗装下地も形成します。通常、ピンネット工法ではモルタル層の剥落防止を目的にピンニングを行いますが、タケモルネット貼り工法はコンクリート打ち放し面やALC板、プレキャストコンクリート、押出成型セメント板などモルタルが塗られていない建物が対象となるためピンニングは不要となります。

タケモルネット層の効果

■ タケモルネット層の特長

CO²によるコンクリート中性化促進試験

100mm×100mm×200mmのコンクリート角柱の5面にタケモルネット貼り(タケモルTM-100 厚さ2mm+ガラス繊維製ネット)を施し、(2)は塗装無し、(3)はタケコート処理、(4)はウルトラコート処理を施した。CO² 5%雰囲気中で30日間中性化促進を実施した後、それぞれの試験体を中央部で二分割し、試験体断面のフェノールフタレイン溶液による赤色反応試験を実施した。なお比較として(1)無処理の試験体でも同様の試験を行った。



- | | |
|--------------------------------------|-----------|
| (1) 中性化深度約20mm | (3) 中性化なし |
| (2) 中性化深度約15mm
(但しタケモルネット層は中性化なし) | (4) 中性化なし |

この結果により、タケモルネット層は中性化しないことが確認されています。

(注) タケモルTM-100は通気性のため(2) 供試体コンクリートは中性化しているがタケモルTM-100そのものはアルカリ性を保持している。

■ 施工手順(コンクリート打ち放し面)

1 マーキング



マーキング点の配置は端部より250mm以内の点を基点として、縦・横各々500mm間隔にマーキングする。

2 バイオハクリRE塗布



マーキング点を中心にローラー等でバイオハクリREを塗布する。(約200mm×200mm)

3 既存塗膜の除去*



軟化した既存塗膜をスクレーパー等で除去しコンクリート打ち放し面を露出させる。

4 タケモルフィラー塗布



全壁面を高圧水洗浄後タケモルフィラーをローラー、刷毛、吹き付け等で塗布する。

5 タケモルTM-100塗付け



タケモルTM-100を約2mm厚に塗付け順次タケモルネットをあてがいその上から金こてで押さえる。

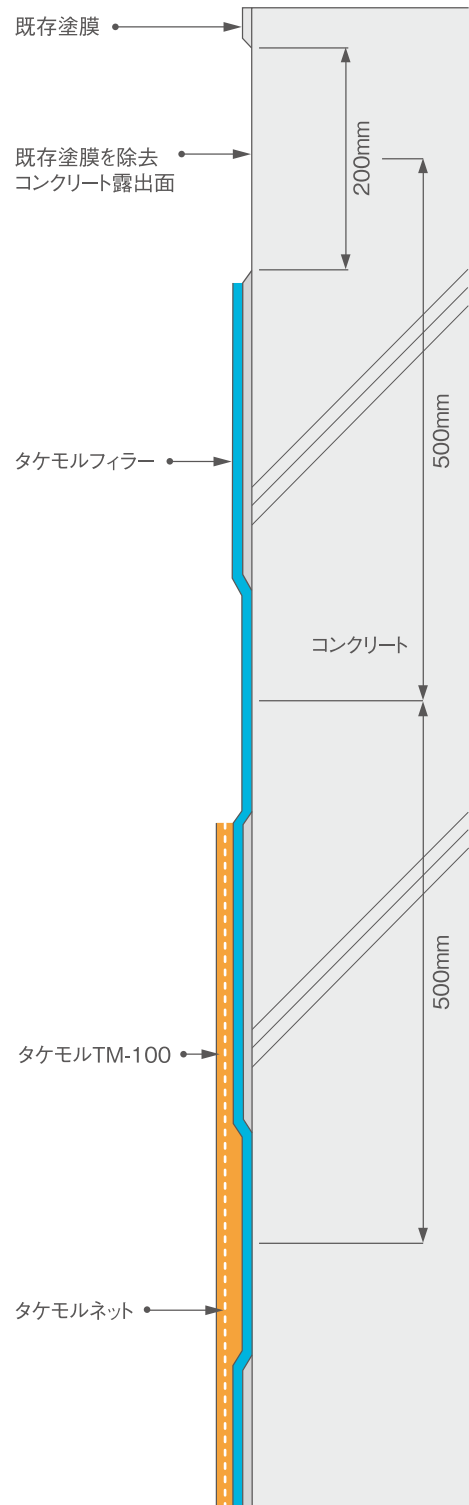
6 タケモルネット伏せ込み



タケモルネットをタケモルTM-100に伏せ込む。伏せ込み後こてむらを直す要領でタケモルTM-100を適宜の厚さに塗付け、平滑に仕上げる。

* 塗装を施していないコンクリート打ち放し面はサンディングによりコンクリート健全部を露出させる。(φ200mm 4箇所/m²)

■ 施工断面図



組合員

ジャピナ
JAPINA
Japan Pinnet Association

全日本外壁ピンネット工事業協同組合

事務局

〒114-0031 東京都北区十条仲原2-12-6

☎ 03-3906-1503 FAX 03-3906-5031

✉ japina@sage.ocn.ne.jp 🌐 <http://www.japina.com>